

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	20559	
事業名	家庭ごみの減量・リサイクル等普及啓発費						
評価担当課	所 属	環)環境事業部 循環型社会推進			電話番号	011-211-2928	
施策名	－						
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外						
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費	
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	札幌市では、平成30年に策定した新スリムシティさっぽろ計画に基づき、ごみの減量・資源化を進めているところであり、その目標達成には、市民のより一層のごみの減量が必要であることから、市民のごみ減量行動を促進させる効果的な取組を講じていく必要がある。 また、びん・缶・ペットボトルや枝・葉・草の分別協力率は9割を超えるものの、雑がみや容器包装プラスチックの分別協力率6割未満と低い状況であり、リサイクル可能なものが依然として燃やせるごみや燃やせないごみなどに捨てられてしまっていることから、資源化の推進のため、分別ルールの変更の普及啓発が必要。					
	事業内容(何を実施し)	家庭系ごみの減量・リサイクルの推進に関する普及啓発事業 ①各種イベントへの参加及び支援 ②ごみ減量啓発パンフレット製作や啓発品購入 ③出前講座など各地域・団体への普及啓発					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	ごみ減量・リサイクルに対する市民意識の高揚を図り、市民のごみ減量行動を促進し、家庭から出る廃棄ごみ量を減量する。					
	他都市の状況	普及啓発施策は、各都市一様ではなく、各都市の実情に合わせて、様々な施策を行なっている。					
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外					
	令和4年度決算額	4,221 千円	うち特定財源	3 千円	正規職員業務量	0.3 人工	
令和5年度予算額	10,815 千円	うち特定財源	10 千円	正規職員業務量	0 人工		
令和5年度決算額	6,641 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工		
令和6年度予算額	10,815 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.2 人工		
指標	アウトプット活動指標1	出前講座・出前教室への講師派遣回数			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		24回	20回	27回	20回	20回	20回
	↓						
	アウトカム成果指標1	出前講座・出前教室参加者数			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		529人	600人	614人	600人	600人	600人
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	令和5年度の出前講座の実施回数・参加人数については目標を達成することができた。引き続き、出前講座を実施することで、ごみに関する市民意識の向上を目指していく。					
	アウトプット活動指標2	ごみ減量啓発イベント実施回数			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		1回	1回	1回	1回	1回	1回
	↓						
	アウトカム成果指標2	ごみ減量啓発イベント来場者数			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
1,707人		2,000人	2,487人	2,000人	2,000人	2,000人	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方	令和5年度はG7関連イベントという位置付けもあって参加者数が前年度より大きく増加した。引き続き市民が関心を持つような工夫を模索していきたい。						
今年度の見直し内容	民間のフリーペーパー等の活用や、小学生向けのウェブページの作成など、これまで以上に、ターゲットを意識した広報手法を積極的に導入した。						
来年度以降の方向性	これまでのチラシ・ポスターなどによる啓発を継続していくとともに、市民のごみ減量行動の促進や分別ルールの変更の浸透に向け、より効果的な方法を検討していく。						